

就職情報の入手に大卒7割が「ネット利用」

過半数が「人間関係」に不安

当所が毎年実施している「新入社員意識調査」の平成13年度結果の概略をお伝えします。調査対象は今年4月から地場企業に入社した新入社員317人で、結果のポイントは「就職情報の入手ツールにインターネット」「就職先決定に勤務地を重視」「人間関係に不安あり」など興味深い結果が出ました。ぜひご覧ください。（本調査の詳細については、情報調査課までお問い合わせ下さい）

就職情報の入手に「インターネット利用」が37%
4年制大卒は70%が「ネット利用」

就職情報の入手は、トップは「学校」で66・3%と前年並みの数字だったが、一方で「インターネット」の回答が全体で37・2%に上りました。中でも4年制大卒の70・7%が「インターネット」と回答。「デジタル化」の波は、就職戦線にも大きな影響を与えつつあるようです。

就職先決定に「勤務地」重視が約半数
入社への不安は「人間関係」が50%強

就職先決定に重視したことは、「勤務地」が49・5%でトップ。これは昨年度対比で14・6ポイントの大幅増加でした。また、入社する会社への不安については、「人間関係」が昨年度対比7・8ポイント増加し53・0%でトップ。次いで「仕事への適応」も昨年度対比7・2ポイント増加し48・9%を記録しました。

自助努力の必要は「積極性」と「責任感」が過半数
会社への希望は「十分な指導教育」が41%

努力しなければならないことは、トップが「積極性」で昨年度対比30・8ポイント増加し58・0%、次に「責任感」が同36・4ポイント増加し51・1%となり、ともに昨年度

の結果を大幅に上回り、過半数を超える結果となりました。また、会社への希望は、「指導・教育」がトップで41・1%でした。

「仕事とプライベート」は「どちらとも言えない」が59%
「定年まで勤務？」は「わからない」が49%

仕事とプライベートの重視は、トップが「どちらとも言えない」で59・0%の結果。なお、「仕事」は20・8%、「プライベート」は18・3%。また、定年まで勤務には、トップが「わからない」で昨年度対比10・4ポイント増加し49・2%。「定年まで勤務したい」は同5・8ポイント減少し20・5%の結果でした。

Face Data

1. 目的

本調査は、企業繁栄の原動力となる新入社員や就職決定までのプロセスや新社会人としての意識等を調査し、労働環境（条件）や指導方法等の参考資料とすることを目的とする。

2. 調査対象

市内企業（65社）の平成13年度新入社員

3. 標本設定

平成13年度新入社員合同入社式及び研修会の参加者並びに市内企業の新入社員を対象とする

4. 調査方法

合同入社式及び研修会の参加者については、同会を実施した4月3日(火)、4日(水)の期間中に回収。市内企業の新入社員分について

は各社に協力を依頼、回答者より回収

5. 調査期間

平成13年4月1日(日)～4月27日(金)

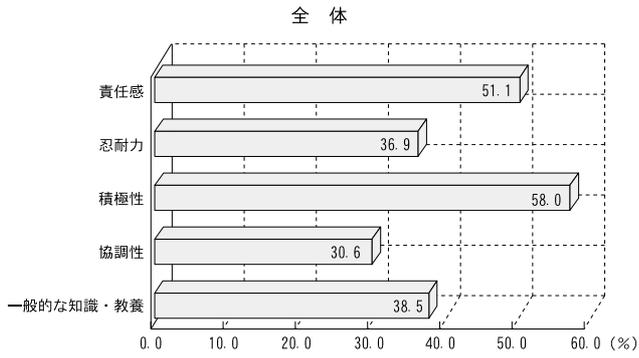
6. 配布数及び回収

配布数 356人
有効回答数 317人（有効回答率 89.0%）

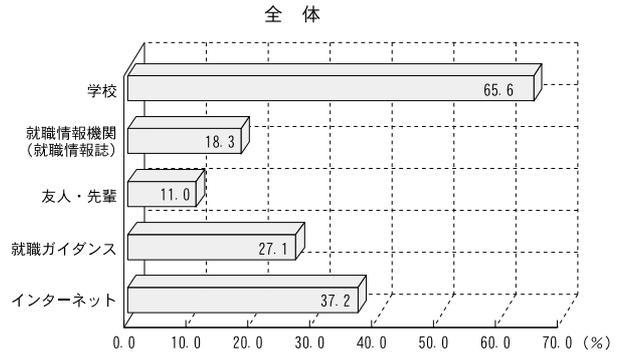
対象者内訳

	男性	女性	計
中学卒	1	1	2
高校卒	42	87	129
短大卒	6	12	18
専門学校卒	12	16	28
大学卒	96	44	140
計	157	160	317

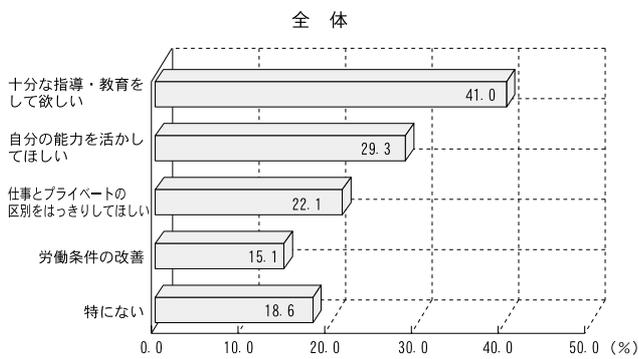
Q5 自分をもっと努力しなければならないものは？ (重複回答)



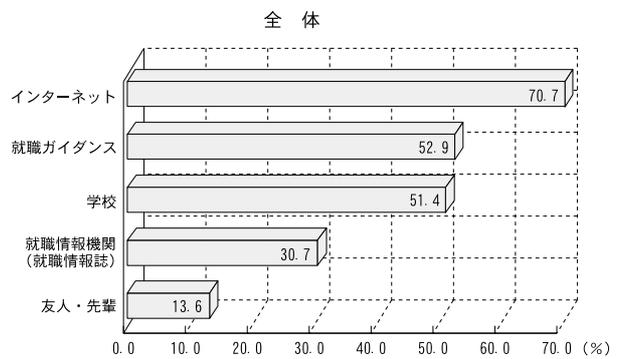
Q1 就職情報はどこから得たか？ (重複回答)



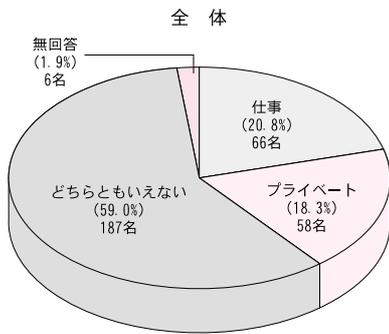
Q6 会社に希望することは？ (重複回答)



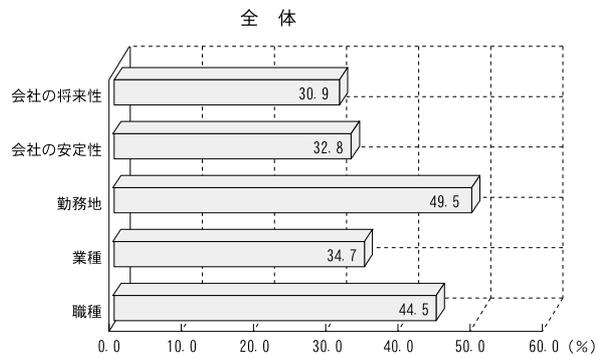
Q2 大卒の就職情報入手ツールは？ (重複回答)



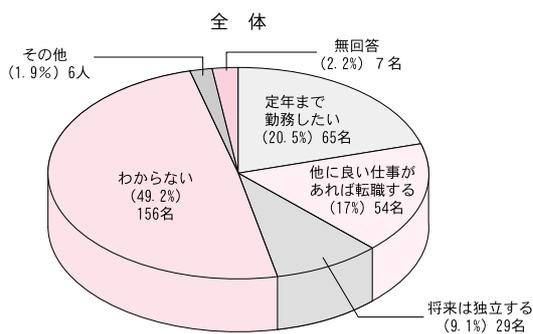
Q7 仕事とプライベートではどちらを重視しますか？



Q3 就職先決定の際に重視したことは？ (重複回答)



Q8 入社する会社に定年まで勤務しますか？



Q4 入社する会社への不安は？ (重複回答)

